



N.Inaba

## THE NIKKAN SPORTS SHO SHINZAN KINEN

## 第59回 日刊スポーツ賞 シンザン記念 (GIII)

本賞	41,000,000円	2着	16,000,000円	3着	10,000,000円	4着	6,200,000円	5着	4,100,000円
付加賞	595,000円		170,000円		85,000円				



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 馬齢重量

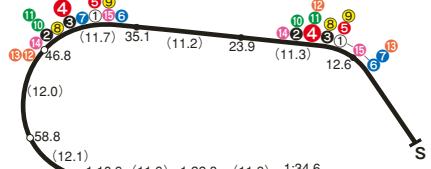
2025.1.13 中京 晴・良 芝1600m (国際) 特指

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
						(着差)	通過順位	(600m)	(増減)				
1	④	リラエンブレム	牡3	57	浜中 俊	1:34.6	4-8-9	35.1	476(+6)	4.7(3)	武幸四郎(栗東)	111	
2	⑧	アルテヴェローチェ	牡3	57	川田将雅	2½	7-7-6	35.7	462(-10)	3.0(1)	須貝尚介(栗東)	106	
3	⑯	ウォーターガーベラ	牝3	55	戸野大成	1½	12-13-13	35.3	446(±0)	75.5(9)	河内 洋(栗東)	99	
4	①	マイネルチケット	牡3	57	戸崎圭太	ハナ	9-11-10	35.5	468(+12)	4.5(2)	宮 徹(栗東)	103	
5	②	タイセイカレン	牡3	57	武 豊	1¼	2-4-3	36.3	480(-6)	8.1(4)	矢作芳人(栗東)		
6	⑤	ジーディーマン	牡3	57	藤岡佑介	2½	9-11-10	36.1	488(+2)	8.8(5)	小栗 実(栗東)		
7	③	アクルクス	牡3	57	幸 英明	½	7-8-6	36.6	472(±0)	176.9(9)	池添 学(栗東)		
8	⑩	ラージギャラリー	牝3	55	坂井瑠星	1	4-2-2	37.3	470(±0)	51.4(10)	高橋 売(栗東)		
9	⑦	オンザハーブ	牡3	57	M.アルーロ	クビ	13-10-10	36.5	502(-2)	68.3(2)	矢作芳人(栗東)		
10	⑨	リカントロボ	牡3	57	菱田裕二	1	9-13-14	36.1	474(+14)	64.1(1)	梅田智之(栗東)		
11	⑩	ゴールデンカイト	牡3	57	A.ルメトール	½	2-4-6	37.0	476(+4)	46.2(9)	中内田正(栗東)		
12	⑬	レーヴブリリアント	牡3	57	松山弘平	1¼	13-1-1	37.8	448(+2)	14.9(6)	田中博康(美浦)		
13	⑥	カラヴァジエスティ	牡3	57	池添謙一	1¼	13-15-14	36.8	464(+12)	23.2(7)	奥村 武(美浦)		
14	⑪	メイショウツヨキ	牡3	57	北村友一	8	4-4-5	38.9	472(+14)	73.1(13)	飯田祐史(栗東)		
15	⑭	アーリントンワフ	牡3	57	西村淳也	¾	1-3-3	39.1	510(+10)	24.2(8)	松下武士(栗東)		

単勝④470円(3×) 複勝④210円(3×) ⑥160円(1×) ⑯890円(11×) 枠連③-⑤580円(1×)

馬連④-⑩950円(2×) ワイド④-⑩490円(3×) ④-⑯5,240円(49×) ⑧-⑯3,780円(42×)

馬單④-⑩1,790円(4×) 3連複④-⑩-⑯22,830円(72×) 3連単④-⑩-⑯75,000円(240×)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
35.1 - 46.8 - 58.8 1:10.9 (11.9) 1:22.8 (11.8) 1:34.6 (12.1)

S

### アラカルト

- 浜中俊騎手はロジクリーで制した16年に続くシンザン記念5勝目。JRA重賞は通算58勝目
- 武幸四郎調教師はライトオントマドで制した23年に続くシンザン記念2勝目。JRA重賞は通算5勝目
- キズナ産駒はJRA重賞通算38勝目
- ラージギャラリーの岩田望来騎手は前日の中山競馬第10競走での落馬負傷のため坂井瑠星騎手に変更
- 出走取消馬 ポッドドンナー(疾病(右前肢跛行)のため)
- 非当選馬 3頭(グラフィティアート、マイエレメント、ミニトランザット)

# リラエンブレム *Lila Emblem*

牡 黒鹿毛 2022.3.27生  
北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・株式会社リビエール・レーシング 栗東・武幸四郎厩舎  
馬名意味・紫(独) + 紋章

デルフィニアIIIRE系 F1-u		
キズナ 青鹿毛 2010	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘAIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat Pacific Princess
デルフィニアIIIRE Delphinia 鹿毛 2016	Galileo 鹿毛 1998	Sadler's Wells Urban Sea
	Agoain 鹿毛 2006	Danehill Dancer Cumbres

5代までのインブリード: Northern Dancer M4×S5

## INTERVIEW

山内大輔 調教主任(ノーザンファーム早来)

### 瞬発力のある走りに驚きました

乗り慣らしの頃の印象からすると、ここまで馬体が成長するとは思っていませんでした。なかなか緩さが抜けきらなかった中で、移動がいい刺激となったのか、ノーザンファームしがらぎや武幸四郎厩舎では、日に日に動きの良さが評価されていました。内容もさることながら、荒れた馬場を気にすることなく瞬発力のある走りを見せたのには驚きました。



S.Setoguchi

2年前のライトクォンタム、昨年のノープルロジャーと、新馬戦を勝ち上がったばかりの馬が連続で勝利を飾ってきたシンザン記念だが、今年の主役と目されたのはG1好走歴も持つ実績馬。サウジアラビアロイヤルCの覇者で、朝日杯フューチュリティSでも5着に食い込んだアルテヴェローチェが頭ひとつ抜けた支持を集め、サウジアラビアロイヤルC3着、京王杯2歳S2着と、タイトルの目前で足踏みを重ねてきたマイネルチケットがこれに続いた。しかし鮮やかな強襲を決めたのは3番人気のリラエンブレム。1戦1勝の新星が実績上位の面々を一蹴し、飛躍への一步を踏み出した。

4コーナーに差し掛かるとアルテヴェローチェが馬群の外を回りながら直線に向くと相手の内を突いて加速を促す。鞍上の指示にリラエンブレムも鋭く反応。残り200m地点で先頭に立ったアルテヴェローチェを一気に抜き去り、最後は2馬身差をつけてゴールに飛び込んだ。

ラスト3沿の内訳は12秒1—11秒9—11秒8。いわゆる“加速ラップ”が刻まれるなか、突き抜けた勝利は高く評価できる。昨年10月の新馬戦(京都)に続き、マイルの舞台で連勝を飾った本馬だが、父キズナ、母の父ガリエアリースと同様、牡馬のクラシック

### 父キズナ

北海道新函町 株式会社ノースヒルズ生産 中央、仏14戦7勝(日本ダービーG1、大阪杯G1、京都新聞杯G1、ニエル賞・仏G2、毎日杯G3)、最優秀3歳牡馬、16年から供用。24年日本リーディングサイヤー、23、24年日本2歳リーディングサイヤー[代表産駒]ジャステインミラノ(皐月賞G1、共同通信杯G3)、ソングライアン(安田記念G1 2回、ヴィクトリアマイルG1、富士S G2)、アカイト(エリザベス女王杯G1)、ディープボンド(阪神大賞典G1 2回、フォワ賞・仏G2、京都新聞杯G2)、天皇賞(春)G1 2着3回、有馬記念G1 2着)、バスマットレオン(ニュージーランドトロフィーG1、ゴドルフィンマイル・首G2)、シックススペンス(毎日王冠G1、スプリングS G2)、マルターズディオサ(チューリップ賞G1、紫苑S G3)、クイーンズウォーカー(ローズS G2、クイーンC G3)、アスクワイルドモア(京都新聞杯G2)、ジューンティケ(京都新聞杯G1)、サンライズジャパン(不來方賞Jn II、みやこS G3)、他に重賞勝ち馬多数

### 母デルフィニアIIIRE

英、仏、愛11戦2勝(リヴァーエデンフィリーズS・英L、英チャンピオンズフィリーズ&メアズS G1 2着、ロワイヤリュー賞・仏G1 2着、パークヒルS・英G2 2着、ギヴサンクスS・愛G3 3着、ブルーウィンドS・愛G3 3着)、20年輸入

ベストミーエヴァー(21 牝父No Nay Never)中央5戦1勝(スイートビーソ・S・L3着)(廻)

リラエンブレム 本馬(22 牝父キズナ)中央2戦2勝(シンザン記念G3)

獲得総賞金48,795,000円

(23 牡父キタサンブラック)

(24 不受胎)

### 祖母アゲイン Again

アイルランド産 愛、英、仏4勝(愛1000ギニーG1、モイグレアスタッドS・愛G1、デビュタントS・愛G2、メイトロンS・愛G1 3着)

インディアンマハラジャ Indian Maharaja(11 牡父Galileo)愛、英、北米2勝(エルグランセニヨールS・愛L)

フォーリングリーヴズ Falling Leaves(14 牡父Galileo)愛0勝、オータムスター

ライト秋葉原賞・仏G3 2着)の母

デラノルーズベルト Delano Roosevelt(15 牡父Galileo)愛、英1勝(ペレスフォードS・愛G2 2着、愛ダービートライアルS G3 2着、バリサックスS・愛G3 2着、ゴールデンフリースS・愛G3 3着)

デルフィニアIIIRE(16 前出)

# 牡馬クラシックロードに強力な新星現る

2年前のライトクォンタム、昨年のノープルロジャーと、新馬戦を勝ち上がったばかりの馬が連続で勝利を飾ってきたシンザン記念だが、今年の主役と目されたのはG1好走歴も持つ実績馬。サウジアラビアロイヤルCの覇者で、朝日杯フューチュリティSでも5着に食い込んだアルテヴェローチェが頭ひとつ抜けた支持を集め、サウジアラビアロイヤルC3着、京王杯2歳S2着と、タイトルの目前で足踏みを重ねてきたマイネルチケットがこれに続いた。しかし鮮やかな強襲を決めたのは3番人気のリラエンブレム。1戦1勝の新星が実績上位の面々を一蹴し、飛躍への一步を踏み出した。

4コーナーに差し掛かるとアルテヴェローチェが馬群の外を回りながら直線に向くと相手の内を突いて加速を促す。鞍上の指示にリラエンブレムも鋭く反応。残り200m地点で先頭に立ったアルテヴェローチェを一気に抜き去り、最後は2馬身差をつけてゴールに飛び込んだ。

外枠から好スタートを切ったアーリントンロウがまずは飛び出したものの、向正面の周回コースに入るとラージギヤラリーが主導権を奪取。さらに3コ一ノードでは掛かり気味に進出してきたレーヴブリリアントが前に並びかけ、緩みのない流れでレースは進む。序盤は好位につけたりラエンブレムの浜中俊騎手は、馬と呼吸を合わせながら少し位置を下げ、中団を追走。マイネルチケットとアルテヴェローチェは直後内外につけて仕掛けのタイミングを見つかった。